

●R6年度に地域協育ネットに取り組む課題について

背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために令和6年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）	
現在、様々な体験活動を実施しているが、長期休業中も含め、年間を通して実施しているため、活動内容に変化がなく、マンネリ化してきている。	依頼先が限られている中で新たな内容を検討しつつ、新しい依頼先も開拓している。	地域人材や各種団体との連携によって新しい内容の体験活動を推進する。	新たな体験活動の取組により、児童の参加率を上げ、多様な体験を推進する。	年間を通した活動の中の新たな体験活動の取組の数。	14	件	16	16	本年度の目標値を達成し、課題の改善が見られた	本年度の目標は達成できたが、新たな講師の依頼先が少なくなっている。今後は同じ講師でも内容の工夫をするなど、目標の内容を再考する必要があると考えている。
地域の方々の協力は充実しつつあるが、高齢化によって辞退される方も増えており、若い世代のボランティア参加が望まれる。	地域や学校等で参加を呼びかけ登録をお願いしている。	PTA総会や育友会総会、学校行事、中学校の校内掲示等でボランティア登録を呼びかける。	保護者や中学生の登録数を増やすことで、学校・家庭・地域の連携を深める。	保護者・中学生のボランティア登録者数。	6	人	15	34	本年度の目標値を大きく上回り、設定していた課題が解決した	本年度は、中学校の協力もあって28名の中学生がボランティアに登録し、年間100回を超える活動実績を上げることができた。保護者ボランティアも増えてきたので、今後も取組を継続していきたい。